

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	道徳	2・東書	新編 新しい道徳 1 新編 新しい道徳 2 新編 新しい道徳 3
取 扱 内 容	○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 骨髄バンクの運動などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第2学年～ 末期癌患者との出会いなどを基に、生命の連続性や有限性なども含めて 理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第3学年～ 医療措置の打ち切りなどを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 地球温暖化対策などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第2学年～ わたり鳥の環境保護などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第3学年～ 樋井川の再生などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 中山太鼓や地歌舞伎などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第2学年～ 秋田竿燈まつりなどを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第3学年～ 隅田川の花火と灯ろう流しなどを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 ○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ SNSへの悪口の投稿を扱い、信頼できる友達になるためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～ 動画のアップロードを扱い、法律や決まりを守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～ SNSへの投稿を扱い、友達とよい関係を築くためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「私の『ふつう』と、あなたの『ふつう』」において、資料を基に、偏見をなくして、外国の人々とよりよく関わるために必要なことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～ 「魔法使いの少年ーいつかの自分」において、ポスターを基に、誰かの 感謝の思いやそれを示す行動に、温かい気持ちになった経験について話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～ 「その子の世界、私の世界」において、写真を基に、「その子の世界」で起きている問題に対して、どのようなことができるかについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動		

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、考えたことをメモし、話し合いに活用できる「つぶやき」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫がなされている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、自ら問題を設定し、問題を解決する過程で、道徳性を養う教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫がなされている。 ・体験的な学習については、各学年に、教材に即して役割演技を行うコラム（Plus）を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫がなされている。 ・また、北海道にかかわりのある内容については、地域社会の一員として未来を考える「浜中町の未来の姿」が取り上げられている。
使用上の配慮等	○ 写真や挿絵、ポスターなどのビジュアルから考える教材や、漫画やグラフから考える教材など、多様な教材（全学年）を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 写真やイラストを見て自ら問題を見だし、その問題についてグループや学級で話し合う活動（全学年）を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	道徳	17・教出	中学道徳 1 とびだそう未来へ 中学道徳 2 とびだそう未来へ 中学道徳 3 とびだそう未来へ
取 扱 内 容	○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 生き物の世話などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第2学年～ 国境なき医師団の活動などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第3学年～ 動物の殺処分などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 富士山の環境問題などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第2学年～ グリーンコンシューマー十原則などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第3学年～ 琵琶湖を守る活動などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ すまんじゅうなどを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第2学年～ 請戸の田植踊などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第3学年～ 博多祇園山笠などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 ○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ ソーシャルメディアのルールとマナーを扱い、誰もが安心して気持ちよく活用するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～ SNSでのトラブルを扱い、自分の意図しない形で情報が広がらないようにするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～ 歩きスマホが原因のトラブルを扱い、安全で調和のある生活を送るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 『ちがいで』について考えよう」において、表を基に、一人一人が輝ける社会を築いていくために必要なことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～ 「お菓子、どうする？」において、心情メーターを基に、みんなが納得できるルールを作るときに、大切にしたいことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～ 「変わりゆく地球」において、写真を基に、地球とともに生きるために、自分が何をしようと思うかについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動		

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、道徳的価値について考えを深めることのできる「学びの道しるべ」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫がなされている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、様々な考えを出し合い、答えが一つではない問いを考え続ける教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫がなされている。 ・体験的な学習については、各学年に、直前の教材に関連した役割演技やリフレーミングなどを行う「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫がなされている。 ・また、北海道にかかわりのある内容については、自然のありがたさや偉大さについて考える「カムイモシリとアイヌモシリ」が取り上げられている。
使用上の配慮等	○ 絵本、写真、漫画など、生徒の興味・関心を高める多様な教材や、今日的な社会課題を扱った読み物教材（全学年）を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 自分の考えを整理したり、他の人の考えと比べたりし、「自分なりのこたえ」を導き出す活動（全学年）を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	道徳	38・光村	中学道徳 1 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳 2 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳 3 きみが いちばん ひかるとき
取 扱 内 容	○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 動物の殺処分などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第2学年～ 臓器提供などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第3学年～ ホスピスのリクエスト食などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ あるヒグマのエピソードなどを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第2学年～ 富士山のガイドの仕事などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第3学年～ 身近な食材であるタコなどを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「島人ぬ宝」の歌詞などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第2学年～ 木桶仕込みのしょうゆなどを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第3学年～ 博多の伝統的な祭り「放生会」などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 ○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ SNSでのやり取りを扱い、相手を理解し、わかり合うためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～ 中高生のネット依存を扱い、日常生活に支障を来さないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～ 「NO MORE映画泥棒」を扱い、他者の権利を守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 『感動』の本質を探ろう」において、資料を基に、自分の生活には、どんな変化が起ころうかについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～ 『尊重』の本質を探ろう」において、資料を基に、一人一人が尊重される社会とは、どのような社会かについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～ 『学び』の本質を探ろう」において、資料を基に、学びに関して新たに発見したのは、どのようなことかについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動		

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・ 言語活動については、各学年に、実感を伴った学びに高める「まなびをプラス」を 配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫がなされている。 ・ 問題解決的な学習については、各学年に、生徒自らが問いを立て、考えが深められるよう「チャレンジ 問いを立てよう」を配置し、様々な道德上の問題や課題を多 面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・ 能力が養われるような工夫がなされている。 ・ 体験的な学習については、各学年に、役割演技で実感を伴う議論ができる「チャレンジ」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道德的価値の意義など について考えを深めるような工夫がなされている。 ・ また、北海道にかかわりのある内容については、希望と勇気、強い意志を考える「アイヌの歌を歌いたい」が取り上げられている。
使用上の配慮等	○ 漫画形式の教材、表やグラフ、写真から成る教材、ケーススタディで考える教材など、多様な題材（全学年）を配置し、自らの道德性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 普段の生活の中から疑問に思った話題についてグループで対話する「てつがく」（全学年）を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	道徳	116・日文	中学道徳 あすを生きる1、中学道徳 あすを生きる1 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる2、中学道徳 あすを生きる2 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる3、中学道徳 あすを生きる3 道徳ノート
取 扱 内 容	○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 阪神・淡路大震災などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第2学年～ 骨肉腫との壮絶な闘いなどを基に、生命の連続性や有限性なども含めて 理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第3学年～ 臓器提供などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 古木の治療や移植などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第2学年～ 緑化事業などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第3学年～ 川端の水文化などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が 取り上げられている。 第1学年～ 「法の脇鹿踊り」をはじめとする郷土芸能などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第2学年～ 日本の「包む」文化などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第3学年～ 江戸切子などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 ○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ SNSの投稿を扱い、自分が法を守っていくためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～ 情報の受信と発信を扱い、必要な場面や状況に応じて情報を活用するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～ 身の回りのマナーを扱い、マナーに対する心構えをもつためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「三人の乗客」において、ノートやタブレット端末を使い、人と人がもっと理解し合うために必要なことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～ 「五月の風－ミカー」において、話し合いの例を基に、信頼される友達になるために大切なことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～ 「卒業文集最後の二行」において、話し合いの例を基に、いじめという 問題を乗り越えるために大切な考えについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動		

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、協働的な学びの積み重ねをまとめられる「道徳ノート」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫がなされている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題を見つけ、その解決に向けて主体的・対話的に考える教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫がなされている。 ・体験的な学習については、各学年に、教材場面の役割演技などを行う「学びを深めよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫がなされている。 ・また、北海道にかかわりのある内容については、よりよい社会を考える「あらゆるものに神は宿っている」が取り上げられている。
使用上の配慮等	○ 身近な生活場面やスポーツ選手の教材、漫画形式やグラフを扱う教材など、多岐にわたる教材（全学年）を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 道徳的価値を自分との関わりで理解し、授業で学んだことを前向きに自分に生かすための発問例「自分に＋１」（全学年）を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントに配慮するとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	道徳	224・学研	新版 中学生の道徳 明日への扉 1 新版 中学生の道徳 明日への扉 2 新版 中学生の道徳 明日への扉 3
取 扱 内 容	○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 進行性筋萎縮症などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第2学年～ 死産を経験した母親などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第3学年～ 余命宣告を受けた人物などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて 理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 特別天然記念物などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第2学年～ リンゴの自然栽培などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第3学年～ 絶滅危惧種のマウンテンゴリラなどを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 狂言や琵琶などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第2学年～ 五色桜などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第3学年～ 青森ねぶた祭などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 ○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ ネットでのうわさ話を扱い、友達に対して偏見をもたないようにするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～ SNSでのやり取りを扱い、ネットやSNSを最適に活用するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～ SNSのアップロードやダウンロードを扱い、周りの人の権利を損なわないようにするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「公平とは何だろう」において、イラストを基に、差別や偏見のない社会を実現するために、身近でできることについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～ 「コスモスR計画」において、マンガを基に、地球を美しく再生するために、どうしたらよいかについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～ 「電車の中で」において、マンガを基に、思いやりを行動に表すときに、大切にしたいことは何かについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動		

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、考えたことをメモし、話し合いに活用できる「メモ欄」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫がなされている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、多様な観点から問題意識を喚起する教材を配置し、様々な道德上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫がなされている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技をして登場人物になりきって考える活動を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道德的価値の意義などについて考えを深めるような工夫がなされている。 ・また、北海道にかかわりのある内容については、集団の中での役割を考える「ロコ・ソーレメダルへの挑戦」が取り上げられている。
使用上の配慮等	○ 従来の読み物教材ではない、新感覚型の教材を充実させ、多様な観点から問題意識を喚起する教材（全学年）を配置し、自らの道德性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ マンガやイラストを見て自ら問題を見だし、その問題についてグループや学級で話し合う活動（全学年）を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルフォントに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	道徳	232・あか図	中学生の道徳 1 中学生の道徳 2 中学生の道徳 3
取 扱 内 容	○生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 震災時の警察官の手記などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第2学年～ マザー・テレサの活動などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第3学年～ 臓器提供などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ グリーンベルト運動などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第2学年～ 地球誕生からの歴史などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第3学年～ 襟裳の再生などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 海外の人に日本のよさを紹介することなどを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第2学年～ 相馬野馬追などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第3学年～ 姫路城の修復工事などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 ○情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 動画サイトへのコメントを扱い、誹謗中傷で相手を傷つけないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～ スマートフォン依存度を扱い、望ましい生活習慣を身に付けるためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～ SNSでのメッセージを扱い、軽はずみな行動で大きな影響を与えてしまわないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「魚の涙」において、資料を基に、いじめの加害者・観衆・傍観者の視点から、いじめのない世界にするために大切にしたいことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～ 「いつでも・どこでも・SNS」において、教材の場面を基に、SNSをめぐるすれ違いについて具体的に想像し、自分自身がどのように行動するかについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～ 「目の見えない白鳥さんとアートを見にいく」において、写真を基に、白鳥さんとのアート鑑賞を紙面上で体験し、障がいのある人との共生について話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動		

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、教材を読んで考えるための視点を提示した吹き出しの「発問」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫がなされている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、生徒が色々な立場で想像したり考えたりできるような問い「マイ・プラス」を配置し、様々な道德上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が 養われるような工夫がなされている。 ・体験的な学習については、各学年に、生徒が色々な立場で想像したり考えたりできるような問い「マイ・プラス」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道德的価値の意義などについて考えを深めるような工夫がなされている。 ・また、北海道にかかわりのある内容については、社会参画、公共の精神を考える「除雪から広がる地域交流」が取り上げられている。
使用上の配慮等	○ 学期ごと及び1年間の自分自身の授業の取組を振り返る、切り取り式ワークシート「学習の記録」（全学年）を配置し、自らの道德性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 教材の学習後にさらに学びを広げることができるよう、 Thinking（コラム）や巻末付録（全学年）を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	道徳	233・日科	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ 道徳 中学校 2 生き方を見つめる 道徳 中学校 3 生き方を創造する
取 扱 内 容	○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ ペットの殺処分などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第2学年～ ドクターヘリの要請などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第3学年～ 骨髄移植などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 美しい地球などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第2学年～ 富士山の環境問題などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第3学年～ 白神の森などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 囲炉裏の分け火などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第2学年～ 日本三名橋の錦帯橋などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第3学年～ 農山村の過疎化などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 ○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ AIが作ったフェイク写真を扱い、情報に振り回されないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～ AIが作った読書感想文を扱い、今後、AIと付き合っていくためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～ SNSでの誹謗中傷を扱い、SNSと上手に付き合っていくためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「いじめ問題と向き合う」において、いじめに関わる方々の意見を基に、いじめがなくなる理由や解決方法について話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～ 「二通の手紙」において、登場人物である元さんの行動を基に、決まりを守ることについて互いの考えを出し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～ 「彼と私のありがとう」において、資料を基に、立場の違う者同士が、よりよい関係を築く時に大切にすべきことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動		

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、対話しやすい環境をつくる「ウェルビーイングカード」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫がなされている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、教材の特性に合わせて発問や展開を工夫して配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫がなされている。 ・体験的な学習については、各学年に、教材の特性に合わせて発問や展開を工夫して配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫がなされている。 ・また、北海道にかかわりのある内容については、郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度を考える「北海道出身の人物の紹介」が取り上げられている。
使用上の配慮等	○ 学びの目標と目的意識をもって授業に向かうための「クラスのみんと『道徳授業』を創り出そう」（全学年）を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各教材の発問「深めよう」（全学年）において、自らのこれからの在り方を考える場面を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	